



## 新年のご挨拶

株式会社北海道しんきん情報サービス  
代表取締役社長

武田 大二郎



新年あけましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。弊社の業務運営につきましては、日頃から温かいご支援を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、誰もが経験したことのない新型コロナウイルス・パンデミックに世界中が翻弄された一年となってしまいました。その影響は、ここで申し上げるまでもなく、今も収束の兆しはないまま新年を迎えております。

世の中は、ウィズコロナやニューノーマルという言葉が飛び交い、急速な変革を求められました。経営悪化を余儀なくされた業界が多数ある中で、企業によってはここをビジネスチャンスと捉えて業績を伸ばす会社も少なからずありました。もちろん業種にもよりますが、ここで環境に適応した正しい企業活動ができれば、大きく成長させるきっかけにもなり得るのは、過去にもあったニューノーマル、それは2000年代初頭のインターネットの本格的な普及であったり、リーマンショック後のCSRやSDGs等の企業責任追及への対応で見ることができます。

そして今回のニューノーマル、重要となるのはDX(デジタルトランスフォーメーション)やテレワーク等への対応と言われております。既存のビジネスモデルは通用しなくなり、また新たな時代への突入となるわけですが、私の身近なところ、殊に信用金庫業界においては、これらの過剰な普及は個人的にはどうしても違和感を覚えてなりません。

現実問題、各メーカーと密接な関係にある当社にとって、テレワークが普及してしまったメーカーとのコミュニケーションは確実に薄くなってしまった感があります。各種会議はリモートで行われますが、単に報告会的なもの

でしかなくなり、真意が伝わらないもどかしさで、テレビ会議システムや種々システム化を推し進める会社として自らが存在していながら、画面越しの会話の限界を痛切に感じたものです。

デジタル化やシステムは、適正な利用シーンでの活用は大変便利なものです。しかし、そこから一步を越えることはなかなか難しい。機微な情報、微妙な感情や事情は、実際にその人を前にして、相手の「熱」を感じて初めて得られるものだと思います。それが得られずして、納得のいく仕事ができるとは思えません。

このような考え方自体が、昭和の古い思考回路からくるものなのかもしれませんが、私としては昨年一年を通じて改めて感じたことでした。

目下、新政権においては地銀や信金の経営統合や合併に対する補助金交付制度創設の動きが出るなど、業界に対して影響を及ぼすような話は後を絶ちません。

大きな時代の変化とともに、喫緊の諸問題は続発しますが、地域に根差し、Face To Faceで地域経済に貢献する信用金庫を縁の下で支える会社として、当社の存在意義は一貫して何も変わりません。確固たる信念のもと、微力ではございますが少しでもお役に立つよう一層のサービス向上に努めて参る所存でございます。

どうか引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、コロナ禍の一日も早い収束を願い、皆様にとりまして飛躍、発展の年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





## 為替集中システムの更改について

為替集中システムにつきましては、現在運用しているシステムが、2015年5月に更改してから5年を経過し、ハード保守部品もなくなるため、2021年10月に新システムへ更改することといたしました。

更なる事務ミス防止策、機能改善や新規機能(新規サービス概要1、2)を取入れ、信頼性の高い仮想サーバに構築することで取り進めております。

### 全体スケジュール 全金庫稼働 2021年10月頃

#### ■ 事務ミス防止策

1件の振込依頼書に2人のオペレータが作業を行い、結果が一致したデータを為替発信しています。  
現在は、同じ作業を行っているものを、一人目のオペレータが全て手入力で処理を行い、二人目のオペレータが過去の学習機能(実績)もしくはOCR読取値を使用し処理を行う方法に変更します。  
異なった入力方法にて2人が処理を行うことでミスを軽減します。

#### ■ 取扱帳票

旧システム(2015年4月まで稼働)で使用していた緑系の帳票は、現行システムでは、取扱えるようにしていましたが、取扱枚数が減少したことから新システムでは赤系だけの帳票を取扱いするよう変更します。  
帳票色が1色の取扱いになり、誤読が減ることでミスを軽減します。



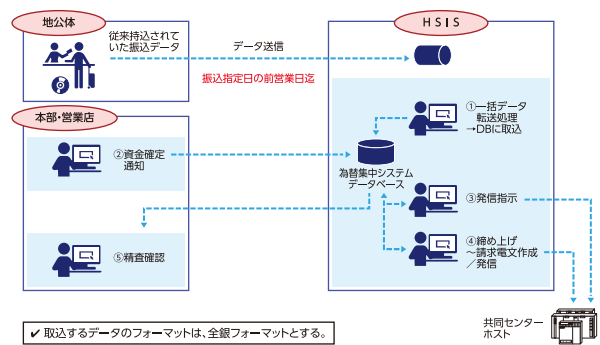
#### ■ 新規サービス概要

##### 1. 総合振込依頼書の再作成依頼方法

営業店設置の為替専用端末\*または、本部照会用端末\*により作成依頼内容を登録できるようにします。  
登録されたデータを為替センターで印刷・発送します。  
(※Windows10端末に限り取扱可能)

##### 2. データ伝送による振込処理の取扱い

地公体から信用金庫に持込まれている振込データ(媒体)を直接為替システムへデータ伝送(取込)し、しんきん共同センターホストへ発信する取扱いを開始します。



お問い合わせ先 ☎ 011-233-1247 (為替集中グループ)

## ホームページ開設のお知らせ

本年8月より当社ホームページを開設いたしましたのでご報告申し上げます。

前回号でもご案内させていただきましたとおり、本サイトでは、当社のご提供システムや商品に関する情報、当社活動情報等も随時更新いたします。また、社内風景や社員紹介など、普段はなかなかお見せできない面も掲載させていただいております。

お時間がございましたら、是非ご覧いただければ幸いに存じます。

#### アクセス方法

<https://www.shinkin-hsis.com/>



発行：株式会社北海道しんきん情報サービス

〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811